



  
**コサージュ作り  
を体験しよう**  
 バレンタインも近いし…  
 日時：2005年2月9日（水）16:30～  
 場所：修己館1F研修室  
 主催：学生相談室



2月9日に開催した  
コサージュ作り教室

# Q&A

本年度で退官される  
先生方に答えて  
いただきました

- Q1** 高校時代に悩んだことはどんなことでしたか？
- Q2** どのようにして悩みを解決されましたか？
- Q3** 学生への伝言をお願いします。



田口 紘一 学科：機械工学科／勤続年数：33年

- A1** 中学時代の授業と比べて、レベルが高く聞いていてわかる授業が少なく、急速に成績が落ちて行ったこと、特に数学は得意のつもりだったのにわからなくなってしまったこと。
- A2** 課外授業などもたくさん受けたが、成績向上にはつながらず、大学受験を一年後に控えて、課外授業はすべて止め、誰からも指導を受けず、自分に合いそうな参考書によるゼロからのやり直しを決心した。それによってやっと少しずつわかるようになり、現役で国立大学という当初の目的をなんとか達成できた。
- A3** 一生涯において何をするか、したいかと言われても先が長すぎてわからないならば、とりあえず、卒業したら何をしたいかを考えて、学校にいるうちにその準備をする。それがこの学校での学び方だと思います。目的がないと学ぶ意欲もわからないでしょうから。



簗田登世子 学科：電子情報工学科／勤続年数：16年

- A1** 高校3年間は、クラブ（物理部）に入り物理実験や天体観測等に励み楽しく過ごしていたので、特別な悩みはありませんでした。しかし大学入試はやはり心配の種で、希望する大学に入れるかどうかが唯一の悩みでしたね。
- A2** 一生懸命に勉強するしかなかったのでしょうか、入試の勉強ほどつまらないものではなく、うまく解決できませんでしたね。
- A3** 内外の文学書などを沢山読んで、気持ちを大きく視野を広く持って過ごして行ってほしいです。



堀切 淳一 学科：電子情報工学科／勤続年数：10年3ヶ月

- A1** 高校時代は自宅から離れて3年間学校の寮で過ごしました。少しのんびりしていたのか、あまり深刻に悩んだことはなかったように思います、進学校だったので高校の3年間はいつでも大学受験のこと頭にあり、悩みは学校の成績や大学入試のことだったと思います。
- A2** 志望校は自分の実力も良く考えて決めました。周りが受験に失敗して1年浪人するのは当たり前という雰囲気だったので、なるようになる、失敗したら浪人して上のレベルを狙うと思って、よい方向に気持ちを切り替えていました。また、同じ寮の友達とよく話し合えたことも良かったと思います。
- A3** 永い人生では嬉しいことや心配なことがいろいろ起こります。その当時は相当大変なことのように思いますが、後で冷静に考えてみると大抵はそれほどのことではないことが多いものです。あまり深刻に考えずに、前向きな気持ちで最善を尽くすようにして下さい。きっと悩みを乗り越えることができると思います。



**原田 克身 学科：建築学科／勤続年数：34年**

(A1)  
&  
(A2)

高校時代に悩んだ覚えはないようなので、どんな少年だったかを記してみます。

高校時代、クラブ（ソフトテニス）に入り、びっくりしたことがありました。同級生が上級生を批判したのです。私は、小さい頃より年上は尊敬はしなくても批判はできないものと思っていた。年功序列の考え方が強い時代（昭和30年代）だったので、なるほど年上でも勝手なことをしていると批判されるのだと考へるようになりました。もう少しあって、国会中継を見て、大人はすごい、みんな喧嘩をしてもよいのかなと、それからは言いたいことは言わないといけないと考へるようになりました。

友達が、そういう人もいてよい、そういう考え方もあるってよい、とかなり広い幅で人を見ていることを知り、自分の考え方、見方の狭さに気づきました。

(A3)

自己の確立がはやい時期にできた人は幸せだと思います。幾つになっても自己の確立ができるない人を見かけることがあります。そういう人は他人を困らせ、嫌われています。さて、諸君はどうでしょうか。



**瀬戸 洋 学科：一般教育科／勤続年数：39年**

(A1)

誰でもそうだと思うが、ささいなことに結構悩んだ。例えば、人より腕が毛深いとかいう肉体的なことから、勉強のこと、家族のこと、性的なことなど、いちいち数え上げたらきりがない。とにかく、今考へると、バカみたいなことにいろいろ悩んだ。

(A2)

あれに悩み、これに悩みしているうちに、少しづつ大人になり、いつの間にか、悩んでいたことすら忘れたというのが実情で、何か特別なことをして悩みを克服したという記憶はない。

(A3)

小林秀雄という評論家が「若いちは大いに悩めばいい。悩むのも若さの特権だ」というようなことを言っている。私もそうだと思う。くだらないことであれ、大切なことであれ、大いに悩んで、growing upしてください。

## セクシュアル・ハラスメント相談室から

セクシュアル・ハラスメント相談室長 宮川英明



皆さんはセクシュアル・ハラスメント相談室があることを知っていますか？知らない人は有明高専のホームページを開いて、「その他」の項目にある「セクシュアルハラスメント」をクリックしてみてください。

- ・どのようなことがセクシュアル・ハラスメントになるのか。
- ・セクシュアル・ハラスメントを起こさないためにはどうしたらよいか。
- ・被害にあったら誰に相談したらよいか。
- ・秘密は守られ安心して相談できるのか。

などについて説明しています。

学生同士あるいは学生と教職員など、どのような関係であっても、互いに相手にいやな思いついをさせないことを基本にして接することが大切です。相手が不快感を直接表明しない場合でも、あなたやあなたが大切に思っている人に対してしてほしくないと思う言動はしないようにしましょう。

被害を受けている人あるいは受けている人を知っている人がいたら、一人で悩まないで勇気をだして相談してください。

